

◎4月1日(土)開催 第2977回例会
単独例会 **ヒヨコ創立95周年記念例会・I**
「カタクリ群生の山・文殊山(365M)へ」に参加
して

布引支部 H.M

ヒヨコ登山会が創立95周年を迎えた記念行事としての第1段は福井県の文殊山登山でした。「カタクリの花が足元に咲き乱れる登山道を歩く・・・!」の見出しに引かれ、参加させて頂きました。

JR三宮駅7時5分の新快速に乗車。この時期、**青春18きっぷ**を利用して小旅行や近県への登山などに出かける熟年グループが多く見られ、土曜日と言うのに結構満席でした。それでも大阪からは座ることが出来て、2回の乗り換えもスムーズに行き、車窓の景色を楽しみながら3時間余りで登山の起点となる北陸線北鯖江駅へ降り立ちました。湖西線経由で来られた再度支部の方や、旗振支部の一部の方などを含め、総勢62名が参加されたとのことでした。



ピンク色の花を付けたショウジョウバカマ

山からの恵みである豊富な飲み水の出ている「酒清水」と言う場所が登山口。いきなりの急坂登りに先行き不安となりましたがすぐに尾根筋へ出ました。途中のあちらこちらでショウジョウバカマの花が出迎えてくれました。

幾度かの登り降りを繰り返していると、リーダーが「今年は雪が多く寒かったせいか、カタクリは葉っぱも小さくて花芽も殆ど付いていないよう

だ!10日程早かったな〜・・・」との呟きが・・・。



四等三角点のある橋立山

「今さら出直すわけにはいきません!とにかく文殊山の山頂を目指しましょう。お腹が減ってはよけいに気が滅入るのでここで昼食を・・・!」ということになり、最初のピークである橋立山で昼食・休憩の指示が有りました。



豪華昼食を囲む保久良支部の皆さん



キンキマメザクラ(自生?)

昼食を取っていると、ツアーで来られたのか、30人程のハイカーが登って来られました。お目当てはやはり「カタクリの花」。例年なら咲き乱れている一番良い時期なのでしょうがね〜・・・。

昼食を足早に済ませ、ツアー客より先に出発。



鞍部で立ち休憩するヒヨコメンバーさん

橋立山から文殊山までの山道は結構上り下りが有りました。段々カタクリの葉っぱが多く目立つようになり、花が咲いていればなるほど踏む程にあるのだろうな・・・と歩いていながら歩いていると、「咲いてる〜！」という声が・・・。登山道が狭いので、一列歩行の状態です。写真を撮られたり、ゆっくり眺められたり・・・でなかなか前へ進みません！・・・咲いていた所は、やはり日当たりが良く、風が避けられるような場所でした。



うつむいた様に咲いていたカタクリの花

その近くにはヤブツバキの木があって、淡い色をしたカタクリとは対比的に、真っ赤な花びらと黄

色い花芯が周りを明るくしていました。



色鮮やかに咲くヤブツバキの花



カッコよく咲いてくれていました！

未だ数は少ないですが、つぼみや半開きのカタクリを眺めながら登って行くと文殊山奥の院に到着。御社は未だ新しく、裏手に二等三角点がありました。



二等三角点（350.5M）のある奥の院裏手



布引支部の乙女隊



旗振支部の皆さん



高取支部の皆さん（胎内くぐりにて）

ここから文殊山の山頂まではものの 15 分。下りにかかるとすぐに「胎内くぐり」という大岩があり、南斜面に咲くカタクリを見ながら 13 時 40 分頃到着しました。



結構見ることの出来たカタクリです！

山頂からの眺めは素晴らしく、福井平野の向こうには、白山を始めとした両白山地の山々が、雪をかぶって輝いていました！越前五山の中心である文殊山は今年開山 1300 年だそうで、霊山の趣が有り、低山ながら素敵な山だと感じました。



山頂での記念写真（全員入りきれません！）

下山は小文殊から JR 大土呂駅めざしてひたすら歩き。15 時 18 分の列車に間に合い、意外と早く三宮へ帰ることが出来ました。

お世話下さった役員の皆様方に感謝致します。

天 候 曇りのち晴れ

参加者 62 名（当会員 61 名）